

のしろ白神の道

東北

多様な木々に囲まれた木の香るルート

活動目的

白神山地のブナ林、日本三大美林の秋田スギなど多様な木々に囲まれ、豊かな森林資源によって発展してきた地域である。活動では、里山の風景の保存と木の香る道の創造による元気な地域づくり、官・民・学協働のネットワークづくり、地域住民の主体的参加による提案型のまちづくり、道づくり・まちづくりを目的とする。

構成団体 ~ 風景街道パートナーシップ ~

日本風景街道のしろ白神ネットワーク

【道路管理者以外の組織】

すみれ会、NPO法人常盤ときめき隊、能代バイパス黒松友の会、さつき会、手這坂活用研究会、秋田県立大学木材高度加工研究所

【道路管理者】

国交省能代河川国道事務所調査第二課、能代市建設部道路河川課

地域資源

豊かな自然資源：白神山地のブナ林、日本の三大美林である秋田スギ、黒松の防風林など

古く・新しい景観資源：能代市中心部にある木材を集積・流通させるための運河、「木のまち」「バスケのまち」としての沿道景観整備、里山の風景（ブナやカエデなどの広葉樹や秋田スギに覆われた山々と人々の暮らしや茅葺集落）など

元気な人的資源：今も息づく里山での暮らし、次代に誇れる地域づくり・道づくりを進める多くの市民など



国内最大級の木橋・坊中橋



手這坂集落